



# 八中は今

## イメージと本質

校長 日置保次

6月7月の花といえば紫陽花を思い浮かべる人が多いと思います。紫陽花の色は、土のPH（酸性度）によって変化している（酸性：青い花 中性：紫の花 アルカリ性：赤の花）ことは広く知られています。しかし、花がどの部分かを知っている人は少ないのではないのでしょうか。

私たちが花と思っている部分は、実は「がくへん」であり花ではありません。

「がくへん」とは「がく」と呼ばれる葉のようなものなのです。では、花はどの部分でしょうか。それは、「がくへん」が集まっている真ん中に小さい粒のようなものがあるのですが、これが花なのです。

こんな目立たない花では、虫たちが寄って来て花粉を運んでくれません。そこで、「がくへん」を花のように見せ、虫たちを呼び寄せるようになったのではないかとされています。

また、紫陽花のイラストにはよくカタツムリと一緒に描かれていることが多いです。紫陽花が見ごろの時期とカタツムリが活発に動く時期が重なることから、カタツムリが紫陽花の葉の上にいるイメージが植え付けられたのかもしれません。しかし、カタツムリは紫陽花の葉の上にいることはほとんどありません。なぜなら、紫陽花の葉には毒があると言われているからです。

紫陽花の例のように、私たちは先入観やイメージ、表面上の様子でいろいろなことを捉えがちですが、本質やなかなか目に見えない部分を見るのがとても大切だと思うのです。



### 1. 安心に向けて歩み出した体育祭

### ～仲間の良さに気付く～

<①係の仕事に取り組む生徒>



体育祭は勝敗がつく行事であり、競技においては勝ち負けにこだわって全力を出します。しかし、競技だけに力を注いだわけではありません。競技が適正に、スムーズに行えるように、係の仕事にも力を入れてきました。

前日まで、自分の役割を把握し、責任をもって行動できるように練習に取り組みました。こうした**競技の主役ではない活動にも全力を出せたことが、全校の安心につながります。**

<②団席からの応援>



練習でも体育祭当日でも見られた素敵な姿が、「仲間を応援する姿」です。団席から精一杯の応援の声を出したり、頑張った仲間を讃える声援が出せたりするのが生徒の良さです。

これは、決して同じ団だけに向けられたものではありません。**競い合っている団の人たちに対しても同じように拍手を送ったり、ねぎらいの声をかけたりできました。**応援された人は気持ちよくなったことでしょう。誰に対しても応援できる生徒を誇りに思います。

<③郡上おどりを地域の方と共に>



今年度は競技だけでなく、郡上おどりも種目として取り入れました。郡上おどりを種目に入れるのかについても、生徒たちで話し合い、次のような意見が出されました。

- ・世界に誇れる地域の文化を多くの人の前で踊りたい。
  - ・地域の人により楽しんでもらうのには最適だと思う。
  - ・踊りに行くことが少ない仲間とも、みんなで踊れる。
- こうした考えをもっている生徒が素敵です。

## 2. ソロプチミスト講演会の実施

～夢をつかむのに大切なこと～

自分の将来について考え、夢を抱き、**夢に向かって未来を切り拓く勇気をもつきっかけ**となることを願い企画したのが「ソロプチミスト講演会」でした。

今回は、アンサンブルやウインドオーケストラなどで活躍されている、森清奏子様をお招きし、ハープを演奏していただいたり、夢に向かって努力された体験談をお話ししていただいたりしました。



ハープの音色は実にやさしく、心が安らぐ曲ばかりでした。生徒たちに人気があったのは、「jupiter」でした。

森清様の体験談では、「人との出会いの大切さ」「なりたい職業に向けての努力の大切さ」をお話しされました。**つらいことや苦しいことに対して、人は負けそうな弱い心になってしまいがちですが、それを乗り越えることの大切さを学びました。**

コロナ禍において、将来への不安をもっていた生徒たちにとって、希望がもてる講演会となりました。

## 3. ゆかたDAYに向けて ～自分たちが地域にできること～



**コロナ禍において薄れてしまった地域とのつながりを取り戻し、地域を元気づけられるのは、生徒が地域で活躍することだと思います。**そこで考えたのが、「郡上おどりを通して盛り上げる」です。このように考えたのは、郡上おどりは、ユネスコ無形文化遺産に登録されたこともあります。八幡中学校には「ゆかたDAY」という大きな行事があるからです。9月6日(水)実施予定のゆかたDAYに関わる取組を充実させることが、地域の元気につながると考えました。

5月の体育祭では、地域の方と郡上おどり(かわさき、春駒)を踊りました。6月には、郡上踊り保存会の方を講師に迎え、「おどり講習会」を実施し、さらに全校生徒が「マイ下駄づくり」に取り組みました。7月には着付け教室を開く予定です。

ゆかたDAYの情報は今後も随時お伝えしていきます。